

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和5年3月2日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	大坪建設株式会社
所在地	〒859-4825 長崎県平戸市田平町山内免 625-4
代表者役職・氏名	代表取締役 大坪 弘成
担当者連絡先	電話：0950-57-0171
	メール：ohno@ootubo.jp
ウェブサイトURL	

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、昭和29年に創業した総合建設事業者であり、旋回式起重機船3船団を所有し、長崎県の港湾を中心とした海上土木工事の請負事業を実施している。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 ✓社会 □経済	地域貢献活動として「大坪愛港海」を組織し、定期的に清掃活動を実施している	年間10回以上の清掃活動を実施する
□環境 ✓社会 ✓経済	地域の高校からの採用を継続する	毎年、インターンシップを積極的に受け入れる 毎年1名以上採用する
✓環境 □社会 □経済	太陽光発電事業の継続 約550KW 9年目	継続的な保守点検・修繕等を行い、年間620,000KWH(前年度実績 626,475KWH)を目標に安定的に発電していく

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・ハラスメントに対する相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントに対する相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・業務効率化による「働き方改革」に取り組んでいる。 ・所定外労働時間における会議の開催を禁止している。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・外国人労働者の受け入れなし。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・ISO45001による運用をしている。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・メンタルヘルスの相談窓口を設置している。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・社内で活躍できる多様な人材の確保を継続している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・年間で作成する教育訓練計画に沿って、計画的に業務や役職に応じた研修を受講している。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・雇用形態に関わらず、「同一労働・同一賃金ガイドライン」に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・社員の定期健康診断受診率100%。 ・この他該当者は「じん肺特殊健康診断」「特定化学物質特殊健康診断」を定期的に受診している。			3					8									
11	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・古紙や金属くず等の産廃業者への収集と再利用委託を実施している。											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・当社において使用している電力の使用量について把握し、削減に努めている。 ・社内の電気を順次LED電球に切替え電力消費量の削減を実施している。							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	環境性能型の重機・機具を導入している。							7.2 7.3					12.4	13.3				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	有害化学物質に関する講習を受講し、「特定化学物質 特殊健康診断」を定期的に受診している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・太陽光発電事業を行っている。 ・事務所のLED化やペーパーレス化を積極的に行っている。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・社員への節水の呼びかけ。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・環境、社会に配慮した認証製品の利用を促進している。												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ISO9001を取得している。 ・発注者の管理基準に沿った適切な管理を行い、引渡し前には社内検査を実施している。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001を取得している。									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・地域の自治活動や防災活動に参加している。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・「大坪愛港海」を組織し、公共道路清掃活動を行っている。 ・地域消防団への加入促進と運営協力を行っている				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・長崎県産の原材料を優先的に使用し、外注先においても県内企業を優先して協力を得るようにしている。								8	9		11	12	13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	組 織 体 制	【内部管理体制】 ・SDG s の達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している								8	9							17	
29		【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している															16		
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している															16		
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）															16	17	
32		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している															16		
33		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる															16		
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している									9		11		13.1		16		
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている								8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

[illegible]

令和 6 年 4 月 2 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	長崎県平戸市田平町山内免 625-4
名称：	大坪建設株式会社
代表者：	代表取締役 大坪 弘成
登録年月日：	令和 5 年 3 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 □経済	地域貢献活動として「大坪愛港海」を組織し、定期的に清掃活動を実施している	年間 10 回以上の清掃活動を実施する	年間 10 回以上の清掃活動を実施済
□環境 ✓社会 ✓経済	地域の高校からの採用を継続する	毎年、インターンシップを積極的に受け入れる 毎年 1 名以上採用する	インターンシップの受け入れ：2 回（佐世保工業高校、鹿町工業高校） 新卒 2 名採用
✓環境 □社会 □経済	太陽光発電事業の継続 約 550KW 9 年目	継続的な保守点検・修繕等を行い、年間 620,000KWH(前年度実績 626,475KWH)を目標に安定的に発電していく	継続的に保守点検・修繕を実施中 9 年目年間発電実績：581,138 KWH

令和 7 年 4 月 3 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	長崎県平戸市田平町山内免 625-4
名称：	大坪建設株式会社
代表者：	代表取締役 大坪 弘成
登録年月日：	令和 5 年 3 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 □経済	地域貢献活動として「大坪愛港海」を組織し、定期的に清掃活動を実施している	年間 10 回以上の清掃活動を実施する	年間 10 回以上の清掃活動を実施済
□環境 ✓社会 ✓経済	地域の高校からの採用を継続する	毎年、インターンシップを積極的に受け入れる 毎年 1 名以上採用する	インターンシップの受け入れ：1 回（鹿町工業高校） 新卒 1 名、中途 5 名採用
✓環境 □社会 □経済	太陽光発電事業の継続 約 550KW 11 年目	継続的な保守点検・修繕等を行い、年間 620,000KWH(前年度実績 626,475KWH)を目標に安定的に発電していく	継続的に保守点検・修繕を実施中 11 年目年間発電実績：453,840KWH